

【熊本 S.J.C.D.例会抄録】

演題 唇側歯肉の保全を行った前歯部インプラント症例

演者名 八田 知之

日付 2012年1月24日

Keywords 1 前歯部インプラント  
2 Provisional restoration  
3 インプラント埋入深度、方向

抄録

インプラントを用いて審美領域を補綴処置する際に、インプラント埋入部の唇側歯肉を、天然歯の歯肉ラインに一致させることは成功への重要なファクターの一つである。

今回は50歳代の患者の上顎前歯部欠損に対し、抜歯即時埋入を Provisional restoration にて唇側歯肉の保全を行った2症例を発表する。

Case1：隣在歯の歯軸に平行に埋入を行い、Provisional restoration エマージェンスプロファイルを調整することにより唇側歯肉を、外科的切除を行うことなく、唇側歯肉の歯肉ラインの保全を行った。

Case2：口蓋側傾斜埋入を行い、Provisional restoration にて唇側歯肉を圧迫することなく、歯肉ラインを保全した。

両症例ともに経過期間は短いですが、埋入深度及び角度を変えることにより、CTG等の外科的処置を回避できる可能性があるのではと考えた。

諸先生方のご意見、ご指導を仰ぎ今後の臨床に生かしたいと考えております。